

「プラスチックと金属の融合」をテーマに、 金型によるさまざまな製品を提供。

代表取締役

瀧澤 幸一

社会に出たら挑戦する気持ちを持ち続けることが大切です。ただ与えられた仕事をこなすだけではなく、自分なりに掘り下げて考えてみるのが重要なのです。

企業は日々進歩を続けなければなりません。そのためには、若い力が必要不可欠になってきます。あなた方、学生さんたちの若いエネルギーをぶつけていってください。想像力と発想力が未来を広げますので、やる気のあるバイタリティーあふれる人を求めています。

設計 課員

宮下 隆廣

信州短期大学 経営学部卒業
2007(平成19)年入社

もともと技術系の学部出身ではなく、設計の知識や技術は社会に出てから身につけました。向き不向きばかりを考えるのではなく、常に前向きに行動すれば、きっと活躍できる仕事が見つかるはずですよ。大変だと思うこともありますが、長い目で見れば、やりがいであったり自分の力になると思えば、仕事をする上で大切にしています。学生の皆さんも社会に出たら何事にも負けずに頑張ってください。

企業の強み

- ・プラスチック製品を製造するための「金型」と呼ばれている金属製の魔法の箱を設計・製作。自動車用のプラスチック製品の金型をはじめ、汎用部品から精密部品の金型まで多種多様なプラスチック金型を手掛けている。
- ・「プラスチックと金属の融合」をテーマにオンリーワンの「ものづくり」を目指し高精度な品質の金型を提供している。
- ・金型以外の分野への挑戦。2013年より開発事業部を立ち上げ「軽トラ革命」と銘打ち軽トラック用の荷台カバー、各種アクセサリなど、自社ブランド開発にも力を入れている。

目指す企業の姿

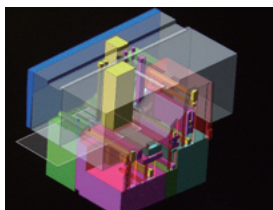
- ▶ **経営理念** 「技術は宝なり」がモットー。常に顧客に愛され続け信頼される「ものづくり」技術への挑戦と対応を心がけている。期待に応える会社・愛される企業を念頭に、企業の発展と地域社会への貢献を目指す。
- ▶ **経営戦略**
 - ・金型事業部:顧客が求める品質や納期、価格などに対応できる体制づくりを強化させる。社員一人ひとりの技術とサービスの向上を図る。企業が集まる研究会にも積極的に参加し、中小企業の発展、地域の発展を目指していく、
 - ・開発事業部:軽トラックの多種多様なアクセサリの設計・製作・開発および、販路開拓・拡大への取り組みに力を入れ、新たな顧客獲得を目指す。働く車をオシャレに「軽トラ革命」の推進を展開させる。
- ▶ **将来ビジョン**
 - ・5年、10年先のニーズを見据えた製品開発に取り組んでいく。金型事業部と開発事業部の2本柱を築き、顧客に信頼される地域密着型の企業を目指す。

基礎情報

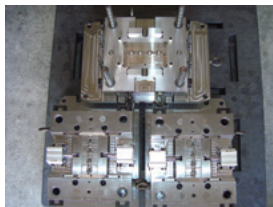
事業内容 プラスチック金型設計・製作／新規ブランド立上げ
所在地 金型事業部：長野県千曲市大字森1757
開発事業部：長野県千曲市大字土口626-2
資本金 500万円
従業員数 14名(金型事業部：11名／開発事業部：3名)
設立 1985年
売上高 1億8,000万円
初任給 大卒▶195,000円、短大卒▶175,000円
専門卒▶180,000円、高専卒▶180,000円
高卒▶165,000円
福利厚生 各種社会保険・財形制度・退職金(勤続3年以上)・健康診断
休日・休暇 社内規定のカレンダーによる

最近の雇用状況

	23年度	24年度	25年度
採用人数	0	0	0



精密な金型を製作するための設計図



多種多様な用途に応じた金型製作が可能

学生から見た魅力

働きがい

★自分がひらめいたアイデアを気軽に出せる場があったり、自分に合う仕事をとことんできるところが良いと思った。大変な仕事であるとおっしゃってたが、自分にしかできない仕事、やりがいのある仕事に充実されているように感じた。

職場の雰囲気

★小さい企業だからなのか、職員みなさんとの仲がいいと思った。とても優しい方でした。

将来性

★軽トラのカバーの発明について語る姿が輝いて見えた。これは、これからの新しい商品を常に考えているからこそ、今の仕事を頑張るのではないかと思った。これからの新しいアイデアも楽しみにしている。